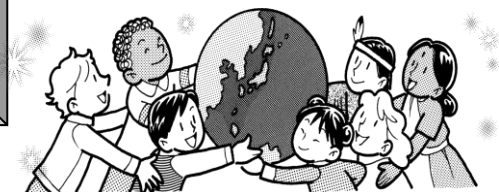


外国語・外国語活動



(1) 外国語の大切さ

なぜ、外国語を学習するのか。

外国語やその背景にある文化を理解し、目的や場面、状況に応じてコミュニケーションを行う力を高める教科です。異なる言語・文化を理解したり、自分の気持ちや考えを積極的に伝え合ったりすることは、このグローバル社会を生き抜く子供たちにとって大変重要なことです。また、外国語で表現し、伝え合うためには、語彙や表現についての知識や技能、情報を整理して自分の考えをしっかりと持つこと、他者に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとすることが大切なのです。

小学校中学年の外国語活動、高学年の外国語は、共に中学校・高校の外国語へと接続しており、コミュニケーション能力を支える素地・基礎となります。中学年では「聞くこと」「話すこと（やりとり）」「話すこと（発表）」、高学年ではこの3つに加え「読むこと」「書くこと」を扱います。しかし、小学校で中心となるのは音声です。つまり、身近で簡単な事柄を聞いたり話したりすることが基本です。最も大切なのは、「りんごが好きだと伝えたい時は“I like apples.”という音を出すんだ」というように、外国語の意味と音声をまるごと結び付けることです。ここに、小学校の授業で外国語を学ぶ意義があります。

小学校で身に付けた力を基に、中学校では「Iが私で、likeは好きという動詞で…」というように、音声に加え、文字や文法を明示的に学習してレベルアップしていきます。

(2) 外国語活動の学習方法



外国語活動の3つのポイント！

○外国語の音声や文字、語彙や表現などの知識、それを用いる技能を高める。

外国語は、まず「聞くこと」からスタートします。意味（どんなことを伝えたいのか）を推測しながら、音声（何と言っているのか）を聞きます。初めは分からなくても、絵やジェスチャー、文脈を手がかりに意味を推測しながら聞き続けることが大切です。そして、言えるところから少しずつ言いましょ。

○コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて自分の考えや気持ちを伝え合う。

お手本を真似て言えるようになったら、次は自分の頭で考えて話すことが大切です。相手にどんなことを伝えたいのかという、自分の思いを大切に活動します。

○主体的にコミュニケーションを図る。

授業では、間違いを恐れず、どんどん発言しましょう。コミュニケーションを通して、自己を表現したり、他者と共感したりする力も高めていきます。

家庭学習では・・・気づきを大切に！

言葉や文化について、気付いたこと、気になったことを自分で調べることで、さらに理解が深まります。色々な国の言葉や文化について調べたり、比較したりしてみることで、自分たちの言葉や文化との共通点や相違点、その成り立ちや特徴などの新しい発見につながります。

(3) 振り返りカードの使い方

外国語 ふりかえりシート Reflection Sheet

ローマ字で書ける人はローマ字で。

振り返りカードは1単元に1枚書きます。まずは、単元名またはめあてを書きます。

番号 No. _____ 名前 Name _____

単元名(めあて) **行きたい国とその理由を伝え合おう。**

A...よくできた B...できた C...もう少し D...できなかった

毎時間の最後に、3つの項目について4段階で自己評価をします。

日付を書きます。付

	英語の表現やきまり、日本語との違いに気付くことができた	場面に合った自分の考えや気持ちを伝えることができた	積極的にコミュニケーションをとることができた
--	-----------------------------	---------------------------	------------------------

ふりかえり (かみばったことや気付いたこと、活動した感想)

	① B C D	A B ③ D	A B ③ D
--	---------	---------	---------

1

2/2
(月)

国の言い方には、日本語に似ているものとそうでないものがあることが分かった。行きたい国を言うときは、アイウォントウゴウトウのように言っていた。次は、国の名前だけでなく、その部分も相手に伝えるようにしたい。

分かったことやできるようになったことを詳しく書きます。

2

2/9
(月)

行きたい国を言うことができた。自分はシンガポールに行きたいと伝えたら、〇〇さんも同じでうれしかった。理由をたずねるときは、Why?とすることが分かった。次は理由も相手に伝えて、伝えるようにしたい。

次の時間への見通しも大切です。

3

2/16
(月)

理由も言えたので、より伝わりやすくなり、友達が「なるほど」という顔をしてくれた。自信がついてきたので、よりは、きり言うことをがんばった。国の名前は、最初が大文字だったので、次から気をつけて書きたい。

友達の良かったところ、すごいと思ったところも書きます。友達の良いところを見付けられるのは、ポイントが分かっているということです。

4

2/23
(月)

〇〇さんは、パンダが好きだから中国に行きたいと言っていた。ゆくりは、きり話していたので分かりやすかった。友達の考えはさまざまで、英語でたずね合うのは楽しいと思った。今度、行きたい都道府県でもみんなと話し合いたい。

外国語では、振り返りカードを使って1時間毎に学習の振り返りを行います。振り返りを通して、次の活動に向けて目標をもったり、「できた!」という達成感を味わったりしてほしいと考えています。小学校のうちに色々な語彙や表現に慣れ親しむことが、中学校以降の外国語の学習に繋がっていきます。